

東京電力(株)福島第一原子力発電所事故に関する第3回現地調査結果について

平成23年 9月22日

福島県原子力安全対策課

事故の収束に向けた道筋のステップ2の進捗状況の確認のため、県と大熊町、双葉町、楡葉町*、富岡町*は、事故後3回目となる現地調査を実施しましたが、その結果は下記のとおりです。(※オブザーバーとして参加)

記

1 確認状況

- (1) 日 時 平成23年9月22日(木) 午前10時30分～午後4時
- (2) 場 所 福島第一原子力発電所、Jビレッジ
- (3) 確認者 福島県 小山原子力安全対策課長、黒田原子力センター所長、他3名
大熊町 秋本企画調整課長、他1名
双葉町 平岩企画課原子力対策係長、他1名
楡葉町 菅波企画課主査
富岡町 緑川生活環境課長、他1名

2 確認結果

- 4月17日に東京電力が公表した「事故の収束に向けた道筋」(工程表)について、ステップ2の進捗を、これまでに稼働した設備等の状況を中心に確認した。
 - ・ 1号機建屋カバーの設置状況(免震重要棟近傍及び海側より外観を確認)
 - ・ 使用済ベッセル一時保管施設、廃スラッジ一時保管施設の設置工事の状況(敷地南側)
 - ・ 港湾南側透過防止堤(鋼管矢板)の設置状況(南防波堤付近)
 - ・ 1～4号機海側ガレキ撤去の状況(海側)
 - ・ ガレキ集積テントの設置状況、ガレキ保管コンテナの仮置き状況(敷地北側)
- ※以下は、Jビレッジ内の施設
 - ・ 放射線作業従事者の教育、入構登録証・作業者証の発行の状況
 - ・ 警報機能付き個人線量計(APD)の貸出・返却、保護衣・呼吸保護具の貸出の状況
 - ・ 保護衣の脱衣、身体スクリーニングの状況
 - ・ ホールボディカウンタの整備状況
 - ・ 放射性廃棄物保管場所(使用済み保護衣等の保管の状況)
- 工程表については概ね順調に進捗している。
- 大気への放射性物質の飛散抑制のため、1号機建屋カバーや瓦礫の保管テント等の設置が進んでいる。

- 瓦礫や汚染水処理に伴う廃棄物については、保管・管理場所で一時的に保管・管理されているが、発電所敷地も限られており、中長期的な課題である。
- 内部被ばく管理のためのホールボディカウンタの増設や、作業員登録のシステム化などが進んでいる。
- なお、台風15号（前日に本県を通過）による被害は、特になかった。



1号機建屋カバーの設置状況
(免震重要棟近傍より)



1号機建屋カバーの設置状況
(海側より)



使用済ベッセル一時保管施設、
廃スラッジ一時保管施設の設置
工事の状況（敷地南側）



1～3号原子炉注水ポンプ
（事務本館東側）



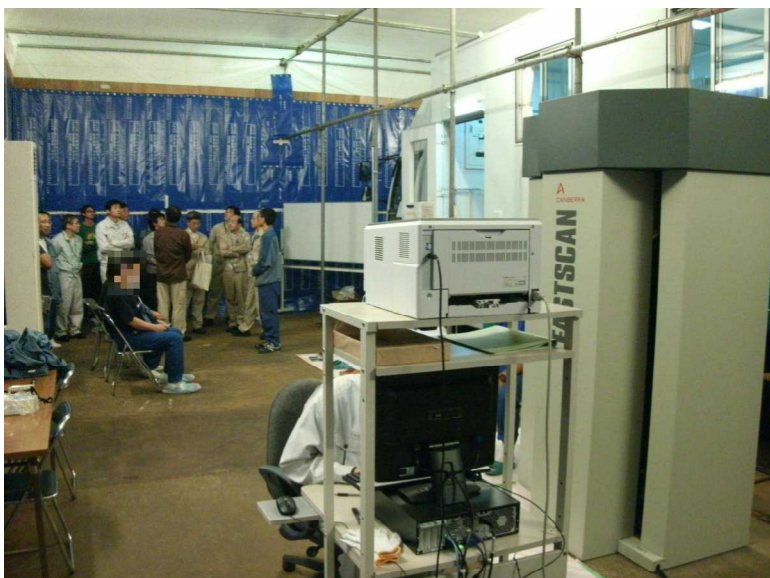
1～3号原子炉注水用のバッフ
ァタンク（事務本館東側）



放射線作業従事者の入構登録証
・作業者証の発行の状況
(Jビレッジ内)



放射性廃棄物保管場所（使用済み保護衣等の保管の状況）
(Jビレッジ 屋根付練習場)



ホールボディカウンタの状況
(Jビレッジ 広野サッカー場)